

第3回 野洲駅周辺地区整備検討委員会 ～議事概要～

日時：平成23年7月29日（金）14：00～16：00

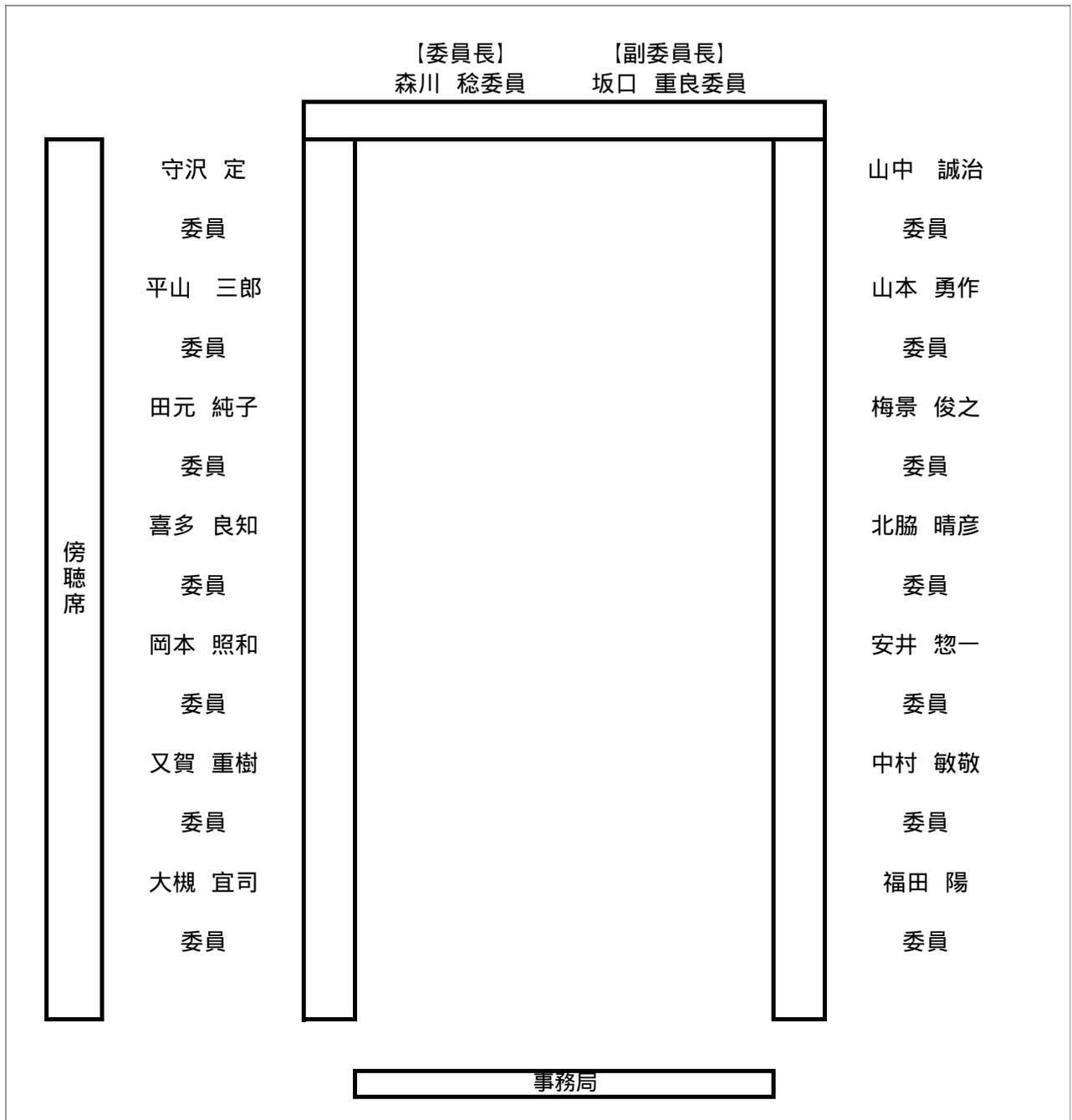
場所：野洲市市民活動支援センター ホール

議事次第

|                     |  |
|---------------------|--|
| 1.開会                |  |
| 2.あいさつ              |  |
| 3.議事                |  |
| 3-1.野洲駅南口駅前広場整備について | 1) 意見の整理と対応<br>2) 野洲駅南口駅前広場整備計画<br>3) 修景の考え方 |
| 3-2.野洲駅北口駅前広場整備について | 1) 整備スケジュール<br>2) 交通量調査計画                    |
| 4.その他               |  |
| 5.閉会                |  |

参加者

|     | 氏名            | 所属等               | 備考        |
|-----|---------------|-------------------|-----------|
| 委員  | 森川 稔          | 滋賀県立大学特任准教授       | (委員長)     |
|     | 坂口 重良         | 野洲市観光物産協会         | (副委員長)    |
|     | 山中 誠治         | 野洲学区自治連合会         |           |
|     | 守沢 定          | 北野学区自治連合会         |           |
|     | 大堀 義治         | 駅前自治会             | 欠席        |
|     | 平山 三郎         | 駅前北自治会            |           |
|     | 山本 勇作         | 野洲市老人クラブ連合会       |           |
|     | 河副 健一         | 野洲市障害者関係団体連絡協議会   | 欠席        |
|     | 田元 純子         | 野洲市女性団体連絡協議会      |           |
|     | 梅景 俊之         | 野洲市商工会            |           |
|     | 喜多 良知         | 迷惑二輪・四輪をなくそう推進委員会 |           |
|     | 北脇 晴彦         | 一般社団法人 野洲市給与所得者の会 |           |
|     | 岡本 照和         | 守山警察署交通課          |           |
|     | 安井 惣一         | 滋賀県南部土木事務所道路計画課   |           |
|     | 又賀 重樹         | 西日本旅客鉄道株式会社       | 長谷川氏が代理出席 |
|     | 立川 敬一         | 近江鉄道株式会社          | 欠席        |
|     | 大槻 宜司         | 滋賀バス株式会社          |           |
|     | 中村 敏敬         | 光タクシー株式会社         |           |
|     | 福田 陽          | 近江タクシー株式会社        |           |
|     | 木下 善広         | 野洲小学校             | 欠席        |
| 事務局 | 野洲市都市建設部都市計画課 |                   |           |
|     | 株式会社エイト日本技術開発 |                   |           |



図．第3回野洲駅周辺地区整備検討委員会 座席表



図．委員会風景写真

議事概要

|  |
|--|
| 委員による意見交換（南口について 1）意見の整理と対応 2）整備計画図）   |
| ・マンションのグランブルー野洲、レックスフェスタ野洲などから保育園児を送迎するのに、駅舎前の歩道を通って遊歩道を使っていると聞いている。安心安全の確保からどこを通れば一番安全なのか、保護者の方への注意喚起をどうされるのか。<br><p style="text-align: right;">（委員）</p>              |
| ・マンションから幼稚園等に行かれる場合、現在と同じルートを使っただけだと思う。<br><p style="text-align: right;">（事務局）</p>   |
| ・送迎においては8:30~9:00が混雑する。歩道内にはベンチやバス停などの標識があり、保護者は子どもを自転車に乗せて走っているのだから、人の行き来も多く危ないのではないかと。<br><p style="text-align: right;">（委員）</p>                                     |
| ・歩道内については自転車を押しでいただきたいと考える。また、計画では駅舎前の歩道幅員は人の滞留も考慮して現況よりも広げており、加えてベンチやバス停などの標識も移動するので、今より安全に通っただけかと考えている。<br><p style="text-align: right;">（事務局）</p>                   |
| ・グランブルーから交番までの間は、自転車は押して歩くという指示をされたらどうか。また、整備前である現段階からこのような指導を徹底し、習慣づけたらよい安全対策になるのではないかと。<br><p style="text-align: right;">（委員）</p>                                    |
| ・関係機関等と協議をさせていただき、その方向で検討させていただきたい。<br><p style="text-align: right;">（事務局）</p>   |
| ・私の家の近くにもこういう場所があり、注意書きができてから自転車等を押し歩く人が多くなってきている。市民のマナーの問題と思われるが、ぜひ幼稚園などに働きかけをしていただきたい。<br><p style="text-align: right;">（委員長）</p>                                    |
| ・現在、滋賀銀行から出る車両は右折しており、計画では右折ができない。また、安全性の確保から今後の課題として駅舎前の車道を一方通行とすることを挙げてほしい。<br><p style="text-align: right;">（委員）</p>  |
| ・警察の方がいらっしゃっているので確認したいが、右折は違反か。<br><p style="text-align: right;">（委員長）</p>   |
| ・一方通行の標識が設置されていれば違反である。<br><p style="text-align: right;">（委員）</p>  |
| ・この図面における緑化面積は全体の1/10くらいか。ドイツで見たが、コンクリートの間に穴をあけて芝生が植えてあり、そこに車が乗っている。そのような緑化をタクシープールなどの場所に採用すればよいのではないかと。緑化に重点を置いて整備することはどうか。<br><p style="text-align: right;">（委員）</p> |
| ・ご提案いただいた緑化手法については検討させていただきたい。緑化については積極的に実施したいと考えている。<br><p style="text-align: right;">（事務局）</p>   |
| ・自家用車駐車場の台数（8台）は、市民の要望から整備をするのか、もしくはスペースがあるから整備するのか教えてほしい。<br><p style="text-align: right;">（委員）</p>   |

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 1）意見の整理と対応 2）整備計画図）

・平成 17 年に駅利用者にアンケート調査を行い、駐車スペース、乗降スペースの要望が多かったのが計画に反映した。

（事務局）

・自家用車乗降スペースが 2 箇所と待機場所があることから、駐車場が本当に必要か。また 30 分無料というのは、有人管理とするのか。システム化すると設備投資と管理費が必要となってくる。さらに、駐車スペースを探してロータリーを巡回することにより交通に対する危険性が増すのではないか。

（委員）

・駐車場、乗降スペース、待機場所はそれぞれ利用目的が区分されている。駅舎側乗降スペースは、送迎用で、ここに車がずっと止まっていることはない。小ロータリー側乗降スペースは、基本的に商店利用者が荷さばきとして一時的に駐車する。駐車場は、30 分無料で以降は有料。待機場所は、乗降待ちとしての使用で、路線バス以外のバスの利用も想定している。

（事務局）

・駐車場は、整地してオートゲートとするのか。

（委員）

・そのような形で考えている。

（事務局）

・利用する側にしてみれば、駐車場整備はあった方がいいと思うが、経費節減という時代の中で、設備投資や人件費がかかるため、本当に必要なのか。また、長い間駐車する人がいれば、他の人の迷惑になってくるのではないか。

（委員）

・コインパーキング形式の予定で人件費はかからないと考える。駐車場の必要性は、アンケート結果等による要望に応えるものとした。

（事務局）

・今後、アサヒビールの土地に駐車場をつくることも検討のうちに入っているのではないかと。前回委員会において、バス停がもう 1 ヶ所あった方がいいとバス会社の意見があったが、駐車場をやめてバス停をもう 1 ヶ所つくった方がいいのではないかと。

（委員）

・バス停の箇所数、バスプールの台数は、バスの運行状況等を調査して決定しており、バス会社も調整することで了承されている。アサヒビールの土地は買収方向で進んでいるが、現段階での駅前広場整備は、アサヒビールの土地と分けて考えるという方針が前回委員会で決定しているので理解いただきたい。

（事務局）

・現在ある 2 台の駐車場は、キップの購入者用のものである。そういうことを含め、基本を皆でよく考えて決めていきたい。ルールをきちんと守るという前提で考えたい。

（委員）

・敷地の協定をしっかりと確認しておいてほしい。駐車場の位置等については重要な問題ではあるが、アサヒビールの土地を取得した場合は、駐車場予定地は銀行との換地の可能性がある。今は、第一段階としてアサヒビールの土地と分けて進めておき、今後の検討課題とすべきではないか。ただ、補助事業なので今後の修正の可否が心配である。そのあたりを事務局で検討いただきたい。

（委員）

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 1）意見の整理と対応 2）整備計画図）

・委員会としては、この案でいくことを前回承認していただいたのでそれは良いと思うが、アサヒビールとの関係で駐車場が今後柔軟的に考えられるのか。

（委員長）

・駅前広場の 1/6 程度の敷地は、JR の所有であり、使用料については JR と協議中である。8 台の駐車場については、基本的にはこの形で了承いただき進めたい。ただ、場合によっては換地が発生する可能性もあり、変更が生じる場合もありうる。国や県については確認するが、ペンディング事項となる可能性もある。

（事務局）

・アサヒビールという大きな整備の関連で、一部修正がありうるという含みをもたせて承認していただいていることとする。また、障害者用乗降スペースの標示について、小ロータリー側は路面標示とサイン、駅舎側はサインのみであるのはなぜか。路面標示があった方が一般車は遠慮するのではないか。

（委員長）

・駅舎側は、一般車との併用を考えているのでサインのみの設置とした。

（事務局）

・必ずしも障害者が優先という訳ではないという理解でよいか。

（委員長）

・前回委員会の時に駅舎側には、障害者用乗降スペースはなかった。前回委員会の意見において、障害者の方も遠慮なく止められるようにできないかという意見があり、公安委員会とも協議し、サインのみの整備とした。

（事務局）

・野洲市は障害者最優先でよいのではないか。

（委員）

・障害者最優先という形で、検討をお願いします。また、「バス注意」の路面標示だけでは弱い気がする。路面にゼブラで色をつけるなどの方法はないか。

（委員長）

・いろいろ方法はあるかもしれないが、前回バス会社の方からバス停の先に一般車が急に出てくるのが危ないという意見があって、注意喚起として路面標示とした。2 箇所の路面標示で注意喚起をより強いものとした。また、この件について近江バスと協議を行い、承認をいただいている。

（事務局）

・小ロータリーに一般車が進入してはいけないという話があったかと思うが、本当に一般車の進入はだめなのか。

（委員長）

・小ロータリーに一般車が入れないという設定はしていない。ただし、タクシーと商店の荷さばき車両の進入の安全性を確保するために、一般車両が入りにくい形状は検討している。その一環として、小ロータリーについては、舗装色を一般部と変えることで一般車の進入抑制を考えている。

（事務局）

・バス乗降場の先端までと小ロータリーの障害者用乗降スペースまで屋根ができるのか確認したい。

（委員）

（次項へ続く）

| 委員による意見交換（南口について 1）意見の整理と対応 2）整備計画図） |       |
|--------------------------------------|-------|
| ・どちらも屋根はつく。                          | （事務局） |
| ・バス停のところの屋根は張り出してほしい。                | （委員）  |
| ・バス停のところは、張り出した計画としている。              | （事務局） |

| 委員による意見交換（南口について 3）修景）   |       |
|--|-------|
| ・「ユニバーサルデザインに配慮したデザイン」とは、どういう意味か。ユニバーサルデザインとは、例えば「段差がない」というような理解でよいか。  | （委員長） |
| ・「ユニバーサルデザイン」という言葉は今流行りの言葉であるが、わかりやすい言葉に置き換えてはどうか。時間の都合もあるので、事務局とコンサルタントでわかりやすい内容を検討していただきたい。  | （委員）  |
| ・野洲市で景観条例とか修景条例を制定されているか。  | （委員）  |
| ・現在、景観形成方針（案）を作成中で、パブリックコメントで市民に意見をいただいている状態である。今後、これを基に条例を定める予定である。   | （事務局） |
| ・今回の駅前整備との整合は、どのように配慮されるのか。  | （委員）  |
| ・景観形成方針（案）は確定されたものではないが、駅前整備コンセプトについては、景観形成方針（案）を基本に考えている。   | （事務局） |
| ・景観条例の「景観」と、南口での「修景」という言葉と、違いが分かりにくい。上位計画として滋賀県の景観計画があり、これから野洲市の景観条例をつくらうとしているのか。そして、今我々が南口の計画に議論しようとしているが、ここで出た意見は野洲市の景観計画に反映されるのか。それとも、野洲市の景観計画としてまとめられたものを我々が聞き、それに合う駅前広場整備の考え方を出すのか。 | （委員）  |
| ・市の景観形成方針に沿って、駅前整備について考え、本委員会でご意見をいただきたいと考える。  | （事務局） |
| ・スケジュールを考えると、景観条例は2~3年先のことになるので、この検討委員会と整合できない。景観計画の答えが来年出るというのであれば、景観計画と切り離して駅前整備を進めるしかないと思う。   | （委員）  |
| ・景観形成方針（案）は資料のように作成段階であり、その内容を反映させたコンセプトを出させていただいている。このコンセプトの方向で良ければ、駅前の修景として街灯の色やベンチ、案内板等の色合いについて決めさせていただきたいと考えている。   | （事務局） |

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 3）修景）

・現段階では駅前広場をどうしようかというところまで議論は進んでいない。この委員会である程度、駅前広場整備コンセプトをつくって、駅前広場はこうときましようという議論はしてもよいと思う。場合によっては、そのことを景観計画に反映すべきと考える。景観計画にて市全体及び主要地区の景観方針があり、それを受けてこの委員会で駅前広場の検討を行うことが、本来の流れである。しかし、景観計画が本委員会と並行しているため、駅前広場についてはこの委員会でコンセプトを固めていっていいと思う。私が皆さんに是非考えてほしいことは、南口駅前広場をどういう雰囲気にしたいかということで、修景の考え方に「野洲市の玄関口としてうるおいが感じられるデザイン」とあるが、「うるおい」だけでいいのかという点である。「はなやかさ」や「にぎわい」、「わくわくする」という場所が野洲市には場所がないと思っている。「はなやかさ」や「にぎわい」、「まちの顔」、「拠点」になるという意味では、アサヒビールの土地の話も出てきているため、南口駅前広場がそういった場所になるだろうと思っている。そう捉えた場合、南口駅前広場をどういう雰囲気、イメージ、景観とすべきか考えていただきたい。また、「うるおい」以外にも、違う言葉がコンセプトに入ってきてもいいと思う。

（委員長）

・「落ち着いたある色とシンプルなデザイン」は良いと思う。デザイン等はこれから考えていくが、あまり華美にならないこと、高価で凝ったものにならない方がいいと思う。

（委員）

・これから高齢化社会となるのでユニバーサルデザインを前面に出したなかで、「にぎわい」や「活性化」があるデザインにしてほしい。ただし、「落ち着いたある色とシンプルなデザイン」もよいと考える。

（委員）

・既にある駅前の建物もあり、今後アサヒビールの土地に新しい建物ができる。そうした中、駅前整備にアサヒビールの土地の新しい建物がデザインを併せることになると思う。また、野洲駅は若者が活気づくイメージはなく、若者が集まってほしいということはある。ただし、イメージ的には派手ではなく、落ち着いた方が野洲市に似合っていると思う。野洲市は銅鐸で有名なので、銅鐸の色のような落ち着いた色を使うことが望ましいと考える。無理に派手にするとか、次の世代に向けて明るい感じにしようなどとする必要はないと思う。

（委員）

・野洲市の表玄関でもあるので、「にぎわい」も大事かと思う。コンセプトに滞留空間の確保とあるが、「滞留」だけでなく「交流」できる空間などもほしい。三上山もあるが野洲川もあるので川のイメージも修景の中に入れてほしいと思う。

（委員）

・専門の方に任せるのがいいと思うが、野洲市はあっちもこっちもにぎわっていない。ただ、防犯上の照明の色にも考慮してほしい。

（委員）

・何か野洲らしいモニュメント、あるいはそれにちなんだものがほしい。野洲をアピールできるもの、歴史的には銅鐸とか祇王井川にちなんだ妓王寺など、よい題材があるので、そういうモニュメント等を利用して、にぎわいを持たせることができるのではないかと考える。モニュメントの下で待ち合わせをすることもできるし、人が集まる拠点みたいなところをつくっていただきたい。

（委員）

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 3）修景）

・商工会としては、12月にイルミネーション等をしている。モニュメントを照らして夜を明るくして、にぎわいをもたせる意味でもシンボリックなものがほしいと思っている。また、現在の銅鐸のモニュメントは目立たない状態にある。

（委員）

・野洲は、伝統があって歴史あるまちだから、けばけばしたイメージは駄目だと思う。原点に戻って自然を取り入れるイメージでいきたい。また、「にぎわい」のある街づくりが必要である。

（委員）

・南口広場整備計画では、「にぎわい」の議論ができる要素は少ない。規模的にしかたがなく、通勤のための動線や利便性の検討が中心になっており、そうならざるを得ない。修景の関係では、歩道の舗装は周辺でいろんなタイプで整備されているが、市役所前のようにポロポロになるものがあり、すっきりとした形で整備した方がよい。また、完成時はきれいでも、後に大きく変わってしまうようなものは避けてほしい。

（委員）

・野洲市も人口が減少し、高齢化の進行は明らかと思われる。そういう意味から、野洲駅は生活弱者に配慮したシンプルな駅であってほしい。いろいろなものをつくって、そこに経費を投入しなければならないというのは避けていただきたいと思っている。

（委員）

・毎日大阪へ通勤しているが、野洲の特徴を考えた時、都会は若い人が集まるが野洲は集まらない。商店を含み駅前全体のにぎわいが感じられない、だから若者も集まらないのではとも考える。今後、アサヒビールの土地も活用するような形で、にぎわいが発生するような感じで検討できたらよいと思う。

（委員）

・駅前が、もう少し明るく上品なまちになってほしい。最近、歴史探訪やアウトレットに来る人がたくさんいる。ただし、駅前にいろいろ整備しても、その人たちはそういったところには行かないと思う。駅舎を市の中心に整備できれば、それに付随して周りにもいろんなものができて、それが周辺に波及するのではないかと思う。それが無理なら、栗東の駅前のように何も無いというのはどうだろうか。何かつくるのはアサヒビールの土地や次の段階に任せて、駅前が品がよく、緑豊かな空間がよい。ただ、手入れが簡易な植木にしてほしい。

（委員）

・駅前はこれまで5回区画整理で変わってきている。以前は南口北口の両側が参加したまちづくりであったが、たまたま何かのせいで区画整理になって片側のみの検討となった。そういうエリアの中でコンセプトをどうするか考えていかなければならない。アサヒビールの土地は買ってもらえると思うが、駅前を広い意味でのコンセプトが考えられると思う。せまい意味での南口駅前広場のみでは「にぎわい」は考えにくく、「落ち着いて、静かな、明るいまち」を基本にし、後でアサヒビールの土地を含んで「にぎわい」とか「うるおい」とか入れるようにしたいと思う。

（委員）

・新快速が止まる、野洲駅止まりの電車がある、湖南市の方から送迎で野洲に来て帰っていく、というイメージが野洲駅にはある。迎えに来られた方が野洲駅周辺でゆっくりできる場所がほしい。また、防犯灯などで広場だけでなく駅周辺も明るくしてほしい。

（委員）

（次項へ続く）

委員による意見交換（南口について 3）修景）

・修景の考え方にある「うるおい」と野洲市景観形成方針（案）を紐付ければ、琵琶湖や周辺水路の「水」であると考えられる。また、今議論になっているのは色の話であり、街灯であれば緑や青は将来的に汚れが目立ち、メンテナンスの問題も出てくる。さらに舗装については、レンガならメンテナンスが困難であり、目地にヒールがはまって危険などの意見もある。常識的な範疇で、地元の方の意見をさらに反映して、駅前広場単体で考えていってはどうかと思う。

（委員）

・野洲駅は、大阪駅や京都駅のようにぎわいを生み出す場所ではない。駅前広場においては「野洲らしいにぎわい」をつくっていききたい。それは、幼稚園に送った後のお母さん方がベンチやテーブルに集まって会話をしたり、高校生が軽く勉強したり、会話のできるなど、そういった形で人が集まる「にぎわい」を目指すべきではないか。

（委員）

・「落ち着き」「明るさ」「上品」「シンプル」「すっきりした」いろんな言葉が出たが、「にぎわい」は駅前広場だけで考えるのではなく、アサヒビールの土地も含めて考えるべきである。「野洲らしいにぎわい」について考えてみるのもよい。メンテナンスや緑化、街灯等も大事なポイントだと考える。また、モニュメントの話については、次回に向けて事務局に整理していただければと思う。

（委員長）

・山仲市長は前回、広場自体がモニュメントであるの見解を示されたが、積極的にモニュメントをつくりたいとの意見があれば考えるとのことであった。南口駅前広場にモニュメントをつくりたいという意見を、委員会としてご賛同いただけるならそのようにご配慮いただきたい。

（委員）

・モニュメントについては、次回までの宿題とする。色については、いくつか案が出されており、次回具体的に議論することにする。基本的には「落ち着き」というキーワードを主とした考えになるうかと考える。

（委員長）

・次回、色の検討については、周辺を含めた立体図がほしい。

（委員）

・写真やパースなどを使い、イメージが分かるような資料を用意する。

（事務局）

・シェルターの色は白と思われるが、色彩的には面積が大きいいため、景観的影響が大きい。その辺も考慮して案を検討していただきたい。

（委員長）

委員による意見交換（北口について）

・この調査は、静態調査か動態調査か。時間別に動いたデータを取らないと答えが出てこないと思う。放置自転車を撤去したのは、動態調査をしたからである。ただ、数をかぞえるのは意味がなく、動態調査をすることが大事である。車両と歩行者にプラスして自転車を調べる必要がある。駅前広場に進入する車両は「野洲」「守山」「近江八幡」が主体であると考えられる。交差点で調査することで、交差点に入ってくる前に車を駐車場に駐車した歩行者がいるため、実態がわからなくなる可能性があることから、注意が必要である。

（委員）

・意見を参考に調査方法については、十分検討したいと考える。また、2箇所ビデオを設置して撮影調査も考えている。

（事務局）

・西友の駐車場が通勤者の駐車場になっているので、その辺から調べる必要がある。

（委員）

・整備においては、陸橋が町道に指定されていることを念頭に置く必要がある。

（委員）

・調査はいつごろ実施する予定か。

（委員）

・8～9月の中で、日程調整しながら実施する予定である。

（事務局）

・天候によって状況が違ふと考えられる。晴れ、雨などいろいろな天候で調査する必要があると思うので検討いただきたい。

（委員）

委員会結果及び今後の予定

- ・南口駅前広場の修景検討については、立体的なパース等の資料を作成し検討する。
- ・南口駅前広場のロータリー形状については承認された。
- ・北口駅前広場については、調査結果を基にレイアウト案を用意する。
- ・次回委員会の開催予定は9月下旬頃として、日程調整する。